

# 第 52 回北陸診療情報管理研究会 第 34 回診療情報管理実務研修会

開催日時：令和元年 11 月 16 日（土） 10：15～16：30

開催場所：石川ハイテク交流センター会議場

当番病院：芳珠記念病院

参加人数：研修会 36 名（富山 7 名 石川 21 名 福井 8 名）

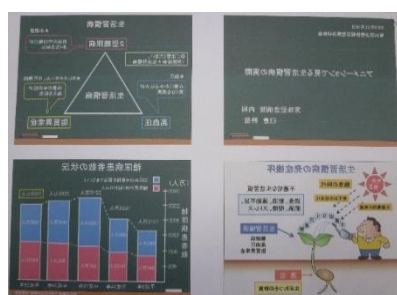
研究会 84 名（富山 16 名 石川 44 名 福井 24 名）

〈第 34 回 診療情報管理実務研修会〉



## ★研修会「アニメーションで見る生活習慣病の実際」

講師 芳珠記念病院 内科部長 白倉 幹哉



← 病 Monster 図鑑

マグネット →



資料

※アンケート結果より抜粋

- ・アニメーションを使っでの説明がとても分かりやすかったです。
- ・研修会が初めて楽しいと思いました。
- ・とても分かりやすく、生活習慣病についてさらに理解を深めることが出来ました。

〈第 52 回 北陸診療情報管理研究会〉

## メインテーマ 『ICT 社会を乗り越えなせ！』



### ★研究会 「日本最大のリアルワールドデータベースの構築とその活用」

特別講師 京都大学大学院医学研究科 薬剤疫学・臨床情報疫学教授 川上 浩司

※アンケート結果より抜粋

- ・医療提供体制の今後を知る良い機会でした。
- ・管理士として自身の勉強不足を痛感しました。
- ・ICT 社会、自分たちにとっては脅威でもありますが、考え方によってはスキルアップしていくチャンスでもあると思います。そのことに気づかせていただきました。



### ★パネルディスカッション

演者：「PHR システムの 2 次利用による業務効率化の試み」

患寿総合病院 森下 毅

「退院時サマリーを機械学習することで得られる病名推定技術の中間報告」

富山大学附属病院 辻岡 和孝

「求められる医療情報」

福井大学医学部附属病院 五十嵐 真由美

「ICT 社会を乗り越えるためのこれからの診療情報管理の視点の考察」

芳珠記念病院 西田 径

※ICT 社会を乗り越えるために、医療情報の活用法や未来を見据えた取り組み事例を、具体例をもってお話し頂き、大変有意義なパネルディスカッションとなりました。診療情報管理士のみならず、医療情報技師やシステムエンジニアが担う役割にも通ずる内容だったと思います。演者の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。